



# 漁業と地方自治体の協働モデル

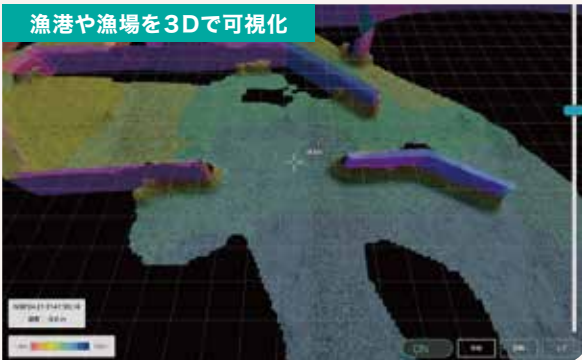
## 漁港インフラ課題を解決



### 漁業

- 漁港の安全・安心利用
- 漁場を3Dで把握し、漁獲高向上
- 水温等の環境情報を地域で共有

漁港や漁場を3Dで可視化



### 漁港・港湾管理

- 漁港や港湾の土砂堆積の変化量を把握
- 比較年度をオンデマンドで設定可能
- しゅんせつ工事計画を適正化

しゅんせつ工事計画の適正化



## 海中のデジタルツインとビジネスモデル

水産事業者

緯度  
経度

水温  
水深

漁船データのクラウド化

#### メリット1（社会課題の解決）

- 土砂堆積状況を定量的に把握
- 漁港利用の安全性向上
- 工事コストの削減を実現

#### メリット2（漁業者の動機づけ）

- 漁場の3Dマップにより漁業の生産性を向上させる

地方自治体

#### メリット3（仮想空間利用）

- 海中のデジタルツイン化
- 構造物や藻場を仮想化

#### メリット4（気候変動対策）

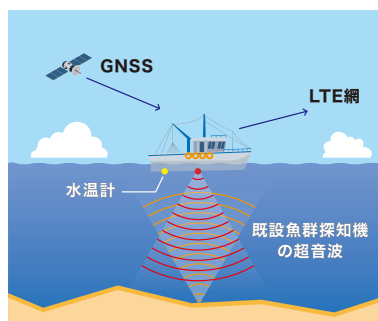
- 海水温の経年変化を共有

養殖事業者

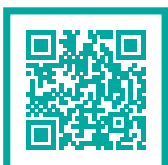
漁業事業者

研究団体

**SeaUp®**  
Submarine Topography  
Surface Temperature



**SeaUp®+**  
Submarine Topography  
Surface Temperature  
Payao Navi 2021



漁船内の既存の**魚群探知機**を利活用。

水深情報と水温センサー等の**漁船データ**を**アップサイクル**し、  
現場で役立つ精度の海底地形情報や環境情報をクラウド化します。

専門的な計測作業

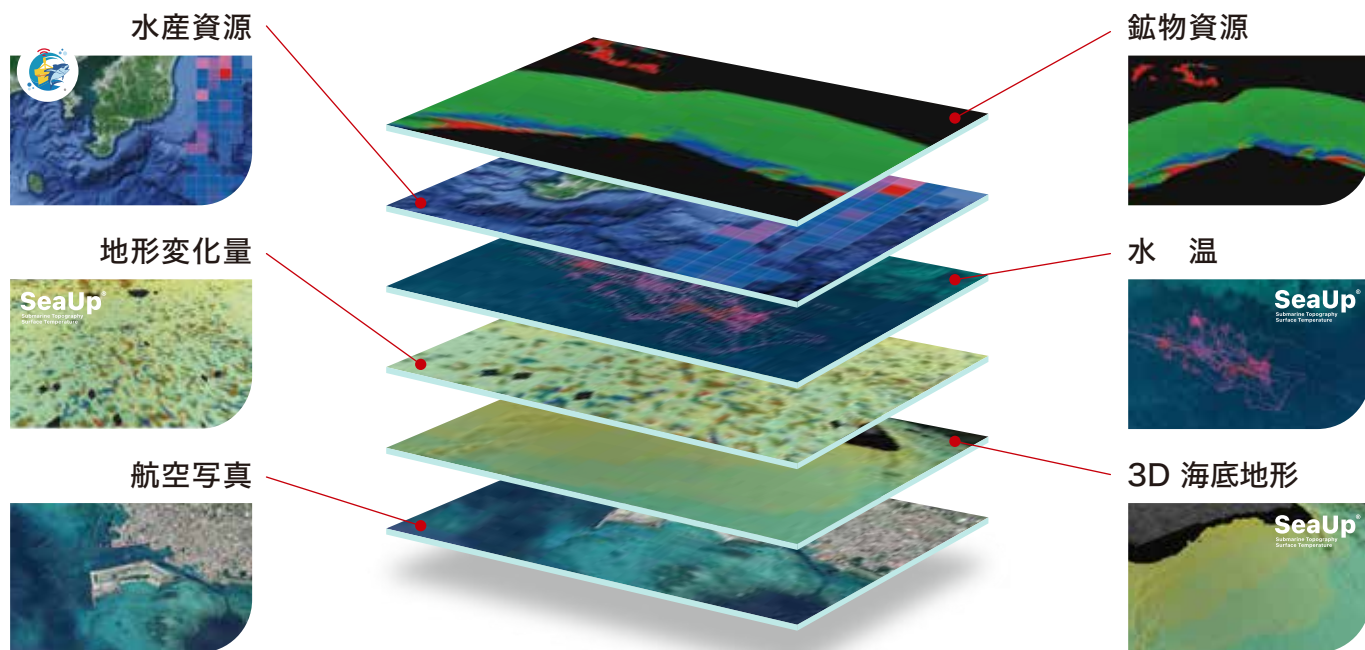
狭域の統計分析や地形の可視化

漁業の平時運用でデータ蓄積

オンデマンドで必要領域の複合情報

環境情報や水産・鉱物等の海洋資源を 管理・加工し、空間的に  
可視化する**海のGIS**。さらに、仮想化情報と地理的情報を融合した  
「**海中のデジタルツイン**」を提供します。

## SeaUp®+ の階層構造例



SeaUp®プラスは、UpsideがSaaS提供している情報（SeaUp®、パヤオナビ®）だけでなく  
ユーザー保管のデータや常時観測中のデータも統合し、同一空間で可視化する**WEBアプリ**です。

アプリのインストール不要！「SeaUp®+」はPCやタブレットのブラウザ上   で動作します。

